

作成日 2009 年 10 月 6 日

改訂日 2024 年 5 月 1 日

製品安全データシート (SDS) 水処理剤シリーズ (固形 pH 調整剤)

1. 製品等および会社情報

製品名： 水処理剤シリーズ (固形 pH 調整剤)

会社名： 日化メンテナンス株式会社

担当部署： 品質・技術グループ

所在地： 茨城県筑西市下江連 1250

電話番号： 0296-26-7039

緊急連絡先： 0296-26-7039

FAX 番号： 0296-28-2734

推奨用途及び

使用上の制限： 排水中に含まれる酸の中和剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性：分類できない

健康有害性：分類できない

環境に対する有害性：分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル： 該当しない

注意喚起用語： 該当しない

危険有害性情報： GHS 分類は該当しないが、多量に吸入、経口摂取すると咳、悪心、嘔吐等を起こす恐れがある。

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別： 混合物

化学名または製品名： 水処理剤シリーズ (固形 pH 調整剤)

成分および含有量：

化学名または一般名	含有量(wt%)	化学特性 (示性式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
炭酸カルシウム	75~76	CaCO ₃	1-122	471-34-1
その他の成分※	24~25	—	—	—

※営業上の秘密に該当するため、標記を省略

4. 応急措置

- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移し、水でうがいをする。多量の場合は医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 付着部または接触部を水で洗い流す。
- 目に入った場合： 直ちに多量の水で洗い流す。異物感がある場合は医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合： 多量の水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 製品は不燃性であり、周囲の火災に適合した消火剤を使用する。
- 特有の危険有害性： 高温で分解する際、イオウ酸化物、一酸化炭素等のガスを発生する恐れがある。
- 特有の消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。風上から消火剤を用いて消火する。
- 消火を行なう者の保護： 消火活動は風上からおこない、適切な保護具（呼吸保護具、眼鏡、手袋）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 漏洩時の処理等の作業の際には、皮膚に直接触れないように保護具（「8. 暴露防止および保護措置」参照）を着用する。漏洩した場所の周辺は関係者以外立ち入り禁止とする。
- 環境に対する注意事項： 漏出物を河川や下水へ直接流さないよう注意する。大量に河川等へ流出し、周辺環境への影響が懸念される場合には、直ちに関係市町村担当者へ連絡する。
- 除去・回収方法： 掃き集めて空容器に回収する。
- 二次災害の防止： 除去作業後に床が濡れた状態の時は滑りやすいため注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

- 技術的対策： 粉塵等が発生する場合、または皮膚に直接触れる可能性がある場合は、吸入や眼・皮膚等への接触防止のためマスク、眼鏡、不浸透性手袋等の保護具（「8. 暴露防止および保護措置」参照）を着用する。
- 注意事項： 容器は破損しないように、投げ積み等をしない。
- 取扱い注意事項： 必要に応じて換気を十分に行なう。

【保管】

- 適切な保管条件： 直射日光を避け、通気の良い場所で、湿気を避けて保管する。地面には直置きしない。酸から離して置く。
- 容器包装材料： 湿気を防いで密閉できる容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度： 日本産業衛生学会¹⁾：総粉塵 4 mg/m³ (炭酸カルシウムとして)
ACGIH(TLV)²⁾：TWA 10mg/m³ (炭酸カルシウムとして)

設備対策： 必要に応じて安全シャワー、手・眼の洗浄設備を設置する。
粉塵が発生する場合、排気装置を設置する。

保護具：

- ・呼吸用保護具： 粉塵が発生する場合は、一般型粉塵マスクを着用する。
- ・眼の保護具： 必要に応じてゴーグル型保護眼鏡を着用する。
- ・手の保護具： 必要に応じて不浸透性保護手袋を着用する。
- ・皮膚・体の保護具： 必要に応じて保護衣、保護長靴等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等： 白色流線星型柱状 (外接円直径約 62mm、長さ約 135mm)

臭い： 無臭

融点： 分解温度 900 °C (炭酸カルシウム)

pH： 9.5～10 (懸濁水溶液 10g/L-蒸留水)

水溶解性： 難溶

その他の性質： 情報無し

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の条件下では安定である。

反応性： 特になし。

避けるべき条件： 特になし。

混触危険物質： 酸性液に接触すると溶解する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性 (炭酸カルシウム)： LD50 : 5,000mg/kg (経口投与：ラット)

亜急性／慢性毒性： 情報なし

皮膚／眼に対する腐食性・刺激性： 情報なし

感作性： 情報なし

変異原性： 情報なし

発がん性： 情報なし

生殖毒性： 情報なし

その他の有害性： 情報なし

12. 環境影響情報

残留性／分解性： 情報なし
生体蓄積性： 情報なし
生態毒性： 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄を委託する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」などの関係法令を遵守する。
汚染容器・包装： 水洗した後、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号： 該当しない
国連分類： 該当しない
その他： 輸送の場合、周辺環境へ排出しないように注意する。容器・包装等の破損に注意する。

15. 適用法令

- ・ 化審法： 既存化学物質、官報公示整理番号：1-122（炭酸カルシウム）
- ・ 労働安全衛生法： 該当しない
- ・ 化学物質管理促進法（PRTR法）、消防法、毒物劇物取締法： 該当しない
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律： 産業廃棄物規則（拡散、流出の禁止）

16. その他の情報

参考文献：

- 1)許容濃度の勧告（2006-2007）日本産業衛生学会 産業医学 48巻
- 2) American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) (2007) TLVs and BEIs.

この製品安全データシートは、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。含有量、物理化学的性質、危険有害性などの記載内容は保証値ではありません。